

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科				
科目名称	生徒指導・進路指導				授業形態	講義			
科目コード	411100	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川越 寛						ICT活 用	○	
授業概要	<p>近年、社会の複雑化・多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童・生徒が増える中、学校教育には一人一人の可能性を最大限に伸ばしていく教育が求められている。このような状況を踏まえ生徒指導及び進路指導の重要性が今まで以上に強調されている。</p> <p>学校教育で取り組む生徒指導・進路指導は創造的な営みであり、個々の教師の仕事の「魅力」や「おもしろさ」が詰まったものであるとともに力量が問われるものでもある。</p> <p>本講義は、学校をめぐる近年の政策動向や理論的・実践的な研究動向などを取り上げるとともに、専門用語をわかりやすく解説することや具体例などを用いて取り組みの方向性をイメージしやすくすることで実践的な教育の在り方について学ぶものとする。</p> <p>公立学校、教育行政において生徒指導及び進路指導を担当、永年高等学校で実務経験を有する教員が授業を担当する。</p>								
関連する科目	教育概論、教育社会学、教育心理学と関連づけて学ぶことが望ましい								
授業の進め方と方法	<p>基本プレゼンテーションを用いて講義を行う。その中にグループディスカッション、質疑応答、模擬授業の時間を設け、学生が自ら考えたり、他者と協議したりすることで思考力・判断力・表現力を深化させると共に、主体的・対話的で深い学びの醸成を図る。また、近年導入が進むICT活用に対応するため、自己の講義だけでなく、学生の模擬授業にも積極的にICTを活用させたい。</p>								
授業計画【第1回】	<p>生徒指導の基礎</p> <p>①生徒指導の意義 ②生徒指導の構造 ③生徒指導の方法 ④生徒指導の基盤</p>								
授業計画【第2回】	<p>生徒指導と教育課程</p> <p>～児童生徒の発達を支える教育課程～</p>								
授業計画【第3回】	<p>チーム学校による生徒指導体制</p> <p>～学校・家庭・関係機関の連携・協働となったチームの動き～</p>								
授業計画【第4回】	<p>個別の課題に対する生徒指導（1）～いじめ～</p> <p>①いじめ防止対策推進法 ②対策のための組織と計画 ③重層的支援構造</p>								
授業計画【第5回】	<p>個別の課題に対する生徒指導（2）～不登校～</p> <p>①関連法規・基本方針 ②学校の組織体制と計画 ③重層的支援構造</p>								
授業計画【第6回】	<p>個別の課題に対する生徒指導（3）～インターネット～</p> <p>①関連法規・基本方針 ②組織的取組 ③重層的支援構造</p>								
授業計画【第7回】	<p>個別の課題に対する生徒指導（4）～自殺～</p> <p>①自殺対策基本法 ②学校の組織体制と計画 ③重層的支援構造</p>								
授業計画【第8回】	<p>個別の課題に対する生徒指導（5）～中途退学～</p> <p>①関連法規・基本方針 ②未然防止と組織体制 ③早期発見。対応</p>								
授業計画【第9回】	<p>進路指導の意義と機能</p> <p>～学校を通じた社会的選抜と進路指導の役割～</p>								
授業計画【第10回】	<p>進路指導の組織体制と方法</p> <p>～進路指導の組織体制と教員が果たす役割～</p>								

授業計画 【第11回】	キャリア教育とは何か ～キャリア教育を通して育成すべき能力～
授業計画 【第12回】	キャリア教育推進のために ～学校、家庭、地域の連携・協働～
授業計画 【第13回】	高等学校におけるキャリア教育 ～キャリア教育推進のためのカリキュラムマネジメントのポイント～
授業計画 【第14回】	高等学校におけるキャリア教育の実践 ～各教科の具体的な取り組み～
授業計画 【第15回】	キャリア教育のまとめ ～実践例作成～
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒一人ひとりに対する愛情と信頼関係を形成するための生徒指導の基本を理解する 2 高等学校教育の基本と生徒指導と進路指導の役割・実践について理解する 3 生徒の社会的・職業的自立を目指す進路指導について理解する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	関係文献を熟読し、次回の講義内容を把握する（約30分）
授業時間外学習【復習】	授業終了後に示す課題についてレポートを作成する（約1時間）
課題に対する フィードバック	提出されたレポートを評価後、返却及び次の授業で解説する 定期テストは試験後に解説する
評価方法・基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 レポート（30点） 2 定期テスト（70点）
テキスト	必要に応じて資料を配付する
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導提要（令和4年12月） 文部科学省 2 生徒指導上の諸課題の現状と文部科学省の施策について（令和5年6月） 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 3 中学校・高等学校 キャリア教育の手引き —中学校・高等学校学習指導要領（平成29年・30年告示）準拠—（令和5年3月）
備考	